

Water Evaporator

数百リットルの水試料から水分だけを連続除去



T
従来



ゲルマニウム半導体検出器などでの、
放射性物質高感度検出測定へ

検証結果

	Be-7	Cs-134	Cs-137	K-40
水道水 (50 L)	—	11±0.5	21±0.5	79±3.8
	—	11±0.5	20±0.5	80±3.9
水道水① (100 L)	—	1.4±0.12	3.5±0.18	11±2.4
	—	1.7±0.12	3.6±0.20	13±2.4
水道水② (100 L)	—	1.4±0.12	2.8±0.17	13±2.2
	—	1.2±0.12	3.1±0.18	12.±2.3
降下物 (19 L)	49±0.7	3.1±0.07	6.0±0.07	ND<0.62
	50±0.7	3.1±0.07	6.0±0.07	0.55±0.18

上段：自動蒸発濃縮装置 下段：従来法 単位：水道水 mBq/L 降下物 mBq/m²
(公益財団法人)日本分析センター

装置の特徴

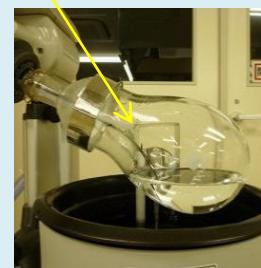
蒸発処理の効率化

冷却管を含めたガラス器具内部を減圧に保ち、
低温蒸発と溜出水除去を同時に処理



試料水の連続自動供給

試料の蒸発減少を水位センサで監視、試料フラスコ内の
減圧による試料の自動吸引供給



蒸発水の自動排水

蒸発水分を室内に放出せず、排気水を
ガラス器具内で回収し自動排出

長時間連続運転

連続10日間以上（昼夜24時間運転）の
無人運転により従来の3倍の処理能力を実現

トラブル対策

停電時には内部減圧を自動開放し、試料水を保全して安全停止。試料加熱には火傷や火災の危険が少ないウォーターバスを使用
他にはない自動水位調整装置付きでバス水位は自動調整。LANを使用した外部通信機能による遠隔モニタが可能。

仕様

試料の蒸発能力	蒸発速度：0.5~0.8 ℥ / 時間 (設置場所の環境により若干異なります) 試料加熱温度：60°C~70°C 蒸発水冷却温度：15°C 真空度：80~100hp
加熱冷却装置	加熱ヒーター (ウォーターバス) : 1000W 冷却装置 (冷却水循環装置) : 600W
平均消費電力	平均消費電力：蒸発水1 ℥当たりの消費電力：1.5~2kW/1 ℥ (室温約24°C)
電源	AC100V 17A (電源コンセント2個：コンセント1個当たり15A以下で使用)
寸法	W 900 × D 800 × H 1760 mm
名称／型式	Water-Evaporator / NOS-02

MTK株式会社 〒143-0015 東京都大田区大森西6-17-17 KOCA A-8

TEL 050-3556-4711 E-mail : info@office-mtk.tokyo URL : <https://www.office-mtk.tokyo>